

『建設業の魅力は、ズバリ「やりがい」です。』

でくち たくま
(出口拓磨：(株)増田工務店入社約9ヶ月)

工事名：宮崎220号富土地区改築工事

●この仕事を何故、選んだ？

高校に入学して3年間土木の勉強をしていく中で少しずつ建設業を意識していきました。この会社に決めたのは、この会社に高校の先輩方がいて、会社の雰囲気が良いことなどの話を伺い決めました。先輩方がいたのは大きい。入社後も実感しています。

●この仕事のやりがいは？

やりがいのある仕事と聞いて入社しましたが、入社して最初の現場の舗装工事が出来上がり、実際に形として見えたときに「おおっ！」という、今まで感じたことのない感動を覚えました。この現場の完成も楽しみです。

●現場での職場環境は？

思っていた程、「建設業=汚い」というイメージはないと感じています。この現場のトイレも洋式でびっくりしています。また、会社が整理整頓を奨励しており、それが安全に繋がると教育を受けているので気を付けています。

勤務時間も平日は17時には仕事が終わります。基本的に土、日曜日は休みです。1月の3連休も休みました。

学生時代にサッカーを頑張っていたので、会社内に「FC増田」というサッカーの社会人チームがあり、参加しています。17時以降や休日が決まっているので、プライベートの予定が立てやすく他の趣味も模索中です。

●建設業の魅力について一言

やはり「やりがい」です。道路や橋などを自分の手で完成させ、そこを友達や家族と車で走った時に自慢できると思います。

また、運転免許証を持って、道路の走りやすさを感じた時にこの仕事に就いて良かったと改めて思います。

【出口琢磨さんのプロフィール】

この現場での担当：現場係員。

宮崎県立宮崎農業高等学校 環境工学科卒業。

スポーツ歴：高校=サッカー (MF)。現在も社会人チームの「FC増田」に所属し、活躍中。

好きな選手は、日本代表の遠藤保仁。

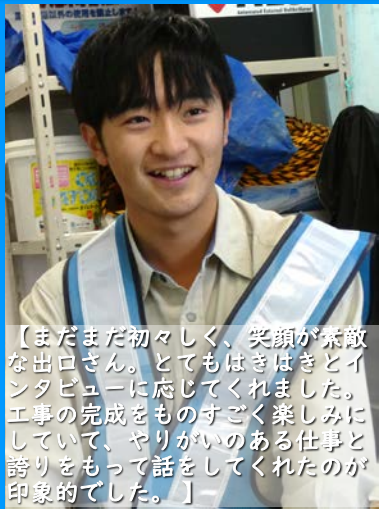
趣味：現在模索中。



【乗りの良い先輩方とサッカーボールを蹴るコマ送りポーズ。ワンチームを感じました。】



【現場の石をサッカーボールに見立てて、特技のサッカーのフリーキックのポーズ】



【まだまだ初々しく、笑顔が素敵な出口さん。とてもはきはきとインタビューに応じてくれました。工事の完成をものすごく楽しみにしていて、やりがいのある仕事と誇りをもって話をしてくれたのが印象的でした。】



【先輩の指示のもと、測量機器を巧みに操る出口さん】



【定期的に工事周辺の側溝の清掃作業を実施しています。これにより住民の方々との距離感が縮まり、円滑な施工に繋がっていることを実感しています。】



【この現場では安全管理を担当している出口さん。毎朝、両親以上の年齢の作業員の方々に勇気を出して「安全最優先」の指示を徹底しています。】



【管理技術者の押川さん(写真右)と現場代理人の戸高さん(写真左)とワンチーム。】

「土木の道に進んで良かった」

ひろせ たいすけ
(廣瀬 太亮)

工事名：宮崎10号都城道路2工区志比田地区橋下部工 (A1) 外工事

((株) 坂下組 入社約4年)

●この仕事を何故、選んだ？

幼い頃から大きな機械で大きな物を造る工事現場に興味があり、将来は土木の道に進もうと思っていました。社会や多くの人のために必要な物を造りたいと思って、この仕事を選びました。生まれ育った地元に貢献したいという気持ちを強く持っています。

●この仕事のやりがい？

現場は、学校の教科書どおりではなく、臨機応変な対応を行うことも多く、現場に出ないと学べないことがたくさんあります。また、流行語で言うまさしく「ONE TEAM」。現場の皆で協力し合い、一つの物を作り上げていくことや何もなかった場所に、毎日、技術力や知恵や工夫を取り入れて造ってきた物が完成した時にとても大きな達成感があります。自分が携わった物が地図に記載され、未来に残っていくと思うとこの仕事をやって良かったと思います。

●現場での職場環境は？

先輩や上司、協力業者の方々は、優しく、少しでもわからないことや不安や悩んでいることを何でも聞け、自分が理解できるまで丁寧に教えて頂いています。人間関係が非常に良くて、毎日、現場に来ることが楽しいです。

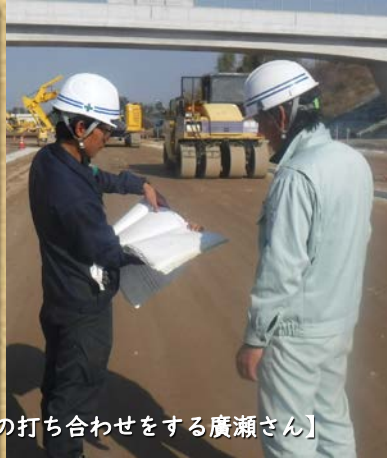
また、週休二日制を実施しているので、仕事のオンオフがはっきりしているのも嬉しいですね。最近、スノーボードを始めました。現場事務所も清潔で全て揃っていて過ごしやすいですね。

●就職に悩んでいる若者に一言

建設業界では、ドローンによる測量やICTを活用した施工など、日々新しい技術を取り入れた現場が増えています。これにより「きつい」「汚い」「危険」と思っていたイメージがなくなりつつあり、「安全」でよりスムーズな仕事になっていくと思います。やっぱり現場は楽しいです。



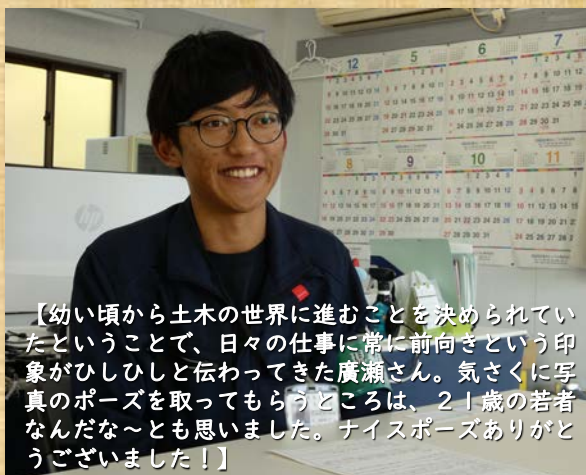
【協力業者の方と施工前に段取りの打ち合わせをする廣瀬さん】



【遠くから廣瀬さんの仕事を見守る上司と先輩】



【基礎杭の鉄筋の配筋を確認する廣瀬さん】



【幼い頃から土木の世界に進むことを決められていたということで、日々の仕事に常に前向きという印象がひしひしと伝わってきた廣瀬さん。気さくに写真のポーズを取ってもらったところは、21歳の若者なんだな～とも思いました。チヌポーズありがとうございました！】

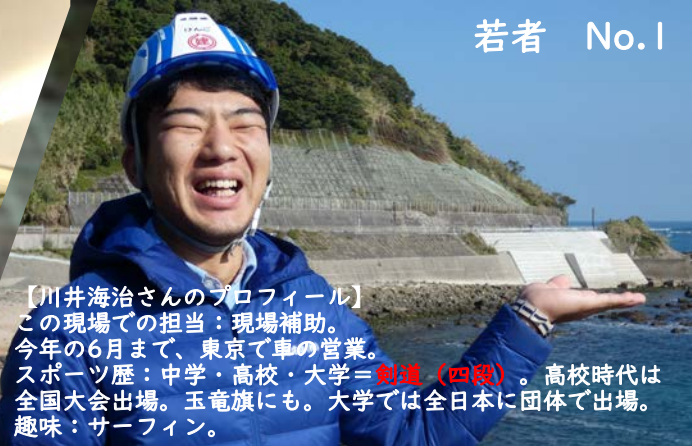


スノーボードでは、こんな感じでジャンプするんですよ！

【廣瀬 太亮さんのプロフィール】
この現場での担当：現場技術員。
宮崎県立延岡工業高等学校土木科を卒業後、入社し、会社の勧めで宮崎県産業開発青年隊に入隊。
趣味：今からシーズンのスノーボード。



手がデカくて、土木向きです。何でもやります『川井リース』



【川井海治さんのプロフィール】この現場での担当：現場補助。今年の6月まで、東京で車の営業。スポーツ歴：中学・高校・大学＝剣道（四段）。高校時代は全国大会出場。玉竜旗にも。大学では全日本に団体で出場。趣味：サーフィン。

剣の道から土木の道へ

かわい かいじ (川井 海治：旭建設(株)入社約5ヶ月)

工事名：平成30年度伊比井地区災害復旧工事

●この仕事を何故、選んだ？

剣道でも団体戦の皆で助け合いながら進めていく感じが好きで、仕事も力を合わせて1つのものを作り上げていくことがしくて今年の7月に東京から帰ってきました。就職説明会に参加し、そういった仕事に合致した旭建設に入社しました。

●この仕事のやりがいは？

構造物が日に日に立ち上がっていき、下請けさんの力も借りながら完成させる。それを見ていると「なんかいいなあ」と感じます。地域のために自分が少しでも加わっていると言う実感をすごく感じています。

●就職に悩んでいる若者に一言

「縁の下の力持ち」という言葉がありますが、皆さんが見えない所とか寝ている時の施工が多々あります。誰かのためにという気持ちがある人は向いていると思います。

●現場での職場環境は？

東京では、お客様相手の仕事だったので昼休み、土日もなく、食事でも不規則でした。今は、10時の休憩とか昼休みもきっちり頂け、遅くとも18時位には仕事が終わり、土日も休みなんで、東京の暮らしとは全く違います。余暇をサーフィンしたりと遊んだり、充実しています。給料的には東京の方が良かったが、それに代えられないくらいに暮らしが充実しています。建設業は「きつい」「汚い」などのイメージがありましたが、どこの現場事務所もきれいで整頓されています。トイレもきれいなのは正直びっくりしました。



土木の道を早く極めて、一人前になりたい。



【口数は多くなかったが、一つ一つの言葉から、建設業で働く誇りと責任感が感じられました。営業で培った笑顔がチャーミング】



担当した現場

【同じ現場を担当した酒井さんと二人で感慨深く完成した現場を眺める】